

◇ 令和4年度 指定管理者事業評価書

施設名	草津市立文化ホール			指定管理料	利用料金	支出	経理の状況	施設運営の方針
施設所管課	教育委員会事務局	生涯学習課	初年度	120,678,616円	21,246,610円	148,264,374円	計画通りの利用料金収入を確保し、計画的に予算執行を行った。	市民の文化の向上と芸術の振興を図り、文化芸術を通じたまちづくりを進める。
施設HPアドレス	https://kusatsu-art.center/creahall https://kusatsu-art.center/amicahall		2年目	113,157,628円	24,861,330円	131,745,449円	支出を上回る収入を確保している。	市民の文化の向上と芸術の振興を図り、文化芸術を通じたまちづくりを進める。
指定管理者名	(公財)草津市コミュニティ事業団		3年目	116,259,321円	19,436,690円	148,237,696円	光熱水費の高騰等により、計画では赤字の見込みであったが、計画的に予算執行を行い、黒字となった。	市民の文化の向上と芸術の振興を図り、文化芸術を通じたまちづくりを進める。
指定期間	令和2年4月1日 ~ 令和7年3月31日		4年目					
評価対象期間	令和4年4月1日 ~ 令和5年3月31日		5年目					

●総合評価の基準		
5	☆☆☆☆☆	評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆☆である
4	☆☆☆☆	評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆である
3	☆☆☆	評価基準の最も多い評価が☆☆☆である
2	☆☆	評価基準の最も多い評価が☆☆である
1	☆	評価基準に☆が1以上ある

○その他の項目	
公募・非公募の別	非公募
使用料・利用料金制の別	利用料金制
指定管理者による運営開始日	アマカホール:平成23年4月1日 クレアホール:平成27年1月1日
施設の供用開始日	アマカホール:平成4年5月6日 クレアホール:平成27年1月1日
指定管理導入前の運営形態	アマカホール:市直営 クレアホール:県営

◆総括評価を概括した総合評価の所見(成果・改善等)

●指定管理者の総合自己評価…	☆☆☆	●市(施設所管課)の総合評価…	☆☆☆
年度の管理・運営に係る事業目標(年度当初に記入) 「“あなたらしさ”をプロデュースする文化ホール」を基本理念に、「made in くさつ」の文化、「草津らしさ」「草津スタイル」と呼ばれる、草津の個性となる文化芸術事業を実施する。 事業団の強みである地域でのネットワーク力、コーディネート力を有する中間支援機能(草津アートセンター機能)を拡充し、草津市文化振興条例および同計画の推進に寄与する。 ▼成果指標(目標) ① 公演型事業数:20事業(①鑑賞型、②普及啓発、③市民協働、④創造型、⑤重点プロジェクト、⑥情報発信、⑦次世代育成事業) ② アウトリーチ型事業数:2事業 ③ アートセンター相談件数:20件 ④ 情報発信: 情報誌12回 ラジオ12回、HP YouTube用ダイジェスト版を作成する。		事業目標および管理・運営に対する評価(事業年度終了後記入) ▼成果指標(結果) ①公演型事業数:20事業(うちインリーチ1事業)、②講座型事業数:2事業 ②アウトリーチ型事業数:4事業、③アートセンター相談件数:24件 ④情報発信:情報誌12回 ラジオ12回 自主事業の1つである草津歌劇団より宝塚音楽学校の合格者が誕生する等、文化芸術振興への取り組みが着実に実を結んでいることから、引き続き、様々なアプローチから事業を実施頂きたい。 施設管理については、市と連絡を密に取り、予防保全に努め、大きな事故を防ぐよう努めた。利用者アンケートの結果も良好であり、適切に施設の管理・運営が行われたと考える。	
事業目標および管理・運営に対する自己評価(事業年度終了後記入) 社会活動がwithコロナの対応となる中で、様々な文化芸術事業を実施し、すべての項目で当初目標を達成することができた。劇団四季公演は、数日でチケットが完売になるなど人気を博し、別日程で小学6年生を招待して映像配信も行った。滋賀県アートコラボレーション事業では、地元吹奏楽団等と新作共演を実施したり、小学校へのアウトリーチ授業も実施した。草津歌劇団6期生による『出会いの街草津』を上演したほか、草津歌劇団卒業生が宝塚音楽学校へ合格するなど、子どもたちのオリジナルミュージカルが草津市に根付いています。そのほか、アマカホール30周年記念事業、文化祭や音楽祭を連動して開催した草津芸術祭を開催、子育て支援につながる2つのファミリーコンサートも満席となるなど、各種事業で好評を得ている。 ▼成果指標(結果) ① 公演型事業数:20事業 ② アウトリーチ型事業回数:4回(狂言、大路まち協、大路区民まつり、商工会女性会)インリーチ型:1回7校(こころの劇場) ③ アートセンター相談件数:24件 ④ 情報発信: 情報誌12回 ラジオ12回、HP YouTube用ダイジェスト版を作成、記録DVD作成 配布		公募・非公募、使用料・利用料金制の導入についての効果の検証 (非公募について) (公財)草津市コミュニティ事業団は、市の指定する中間支援組織であり、市だけでは実現が困難であった施策の展開について、市と協働しながら取り組まれてきた。また、草津の文化の担い手の育成、文化的資産の活用にも積極的に取り組まれ、文化を通じたまちづくりに貢献いただいている。 (利用料金制について) Webの活用、ラジオや紙媒体等による積極的な広報などにより、利便性の向上および利用の促進に取り組まれている。また、利用者アンケートの結果からも料金設定に概ね満足との評価を得ていることから、利用料金制度を継続することで、指定管理者の経営努力を促したい。	

◇施設に係る主な指定管理業務	
<ul style="list-style-type: none"> ・文化ホールの運営および維持管理に関すること。 ・草津市立草津アマカホール、草津クリアホールの各条例第1条の設置目的を達成するための事業の実施に関すること。 	

◆評価基準	
☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりもはるかに優れた内容である
☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である
☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、概ねその水準に沿った内容である
☆	仕様書・協定書等の基準は遵守し、若干の改善が必要な内容である
☆	仕様書・協定書等の基準を遵守しておらず、改善が必要な内容である

文化振興事業（管理業務仕様書P.3）			
評価項目1		指定管理者の自己評価	市（施設所管課）の評価
評価項目1	上半期評価	前年度、コロナ中止となった歌劇団公演を延期公演として実施するなど、状況を見ながら各事業制作期間を調整。コロナ感染対策を講じ、参加者や利用者が安心できる環境を整え、各事業を実施。また、矢倉小学校、草津小学校街探検事業に協力し『ホールのお仕事紹介とコンサート』を開催。プラスフェス関連事業『青少年と創るコンサートワークショップ』は日頃部活動では経験のできない内容で参加者から好評を得た。	上半期評価
	☆☆☆☆		☆☆☆☆
	下半期評価	全国区レベルの鑑賞型公演の充実させるとともに、市民とともに創る参加型創造型事業のバランスを考え幅広く展開した。また、青少年育成を目的にした邦楽、邦舞の体験ワークショップ（箏、日本舞踊、狂言）を実施、これまで独自で開催していた草津市民文化祭、音楽祭、合唱祭を統合した形で『草津市芸術祭』を、草津市一般吹奏楽連盟、草津市合唱連盟、草津市文化協会と連携し開催した。	下半期評価
	☆☆☆☆		☆☆☆☆

利用者満足度に関すること（管理業務仕様書P.3）			
評価項目2		指定管理者の自己評価	市（施設所管課）の評価
評価項目2	上半期評価	管理業務仕様書に基づき、年間を通して施設利用者へのアンケートを実施した。アートセンターを中心にコロナ禍での開催や公演内容など利用者様の不安や要望に答えられる体制を整えた。	上半期評価
	☆☆☆		☆☆☆
	下半期評価	貸館時におけるアンケート集計では、「受付対応」「施設・備品の清潔さ」「利用料・利用時間」について90%前後の高い評価を得ている。また、適切な技術アドバイスにより、高度な舞台技術を要するバレエやダンス等での利用希望が増加している。	下半期評価
	☆☆☆☆		☆☆☆

貸館に関する業務（管理業務仕様書P.4）			
評価項目3		指定管理者の自己評価	市（施設所管課）の評価
評価項目3	上半期評価	駐車場が不足しないよう建設技術センター駐車場を借用したり、市の催しと重ならないように調整した。また、コロナ感染症による臨時休館はなく、感染対策を徹底し、利用者の安全・安心を確保できた。生涯学習課とは定例会を毎月行い、貸館状況等について適宜協議している。貸館においては使用許可、料金の徴収・返還、料金の減免について、遺漏なく行うことができている。	上半期評価
	☆☆☆		☆☆☆
	下半期評価	上半期同様に駐車場対応、新型コロナウイルス感染症対策、連絡調整会議等を行った。貸館は、不適切な施設利用が発生しないようにするため、「新規利用者情報登録書」を用いて申請者に係る情報を収集して申請時の審査を適正に行い、「条例」「施行規則」「使用料徴収規則」に則った業務を行っている。	下半期評価
	☆☆☆		☆☆☆

施設の維持管理（管理業務仕様書P.7）			
評価項目4		指定管理者の自己評価	市（施設所管課）の評価
評価項目4	上半期評価	仕様書に定める点検回数を遵守するとともに、必要に応じて、迅速に修繕を行うことで、安全な施設管理に努めた。	上半期評価
	☆☆☆		☆☆☆
	下半期評価	次年度の大規模改修に向けて、市側と密に連携をとり、貸館利用者への影響を最小限に抑えた。	下半期評価
	☆☆☆		☆☆☆